

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-19350

(P2004-19350A)

(43) 公開日 平成16年1月22日(2004.1.22)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F 1	テーマコード (参考)
E 0 1 C 23/09	E 0 1 C 23/09	2 D 0 5 1
E 0 1 C 11/24	E 0 1 C 11/24	2 D 0 5 3

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2002-178541 (P2002-178541)	(71) 出願人	502220403 株式会社スカイ・アーク 香川県綾歌郡綾歌町岡田西2217番地1
(22) 出願日	平成14年6月19日(2002.6.19)	(74) 代理人	100089222 弁理士 山内 康伸
		(72) 発明者	大西 深 香川県綾歌郡綾歌町岡田西2217番地1 株式会社スカイアーク内
		F ターム (参考)	2D051 AA02 AA03 AC05 AH00 2D053 AA24 AA25 AB06 AB07 AD01 BA01 BA07 DA02 DA03 DA05

(54) 【発明の名称】 排水性舗装工事における排水用溝形成工法

(57) 【要約】

【課題】排水用溝を形成する作業を大幅に減らすことができ、排水用溝の底部に大きな凹凸を形成することなく排水用溝を形成することができる排水性舗装工事における排水用溝形成工法を提供する。

【解決手段】表層SPと基層BPを有する不透水舗装P1が施された道路を排水性舗装P2を施した道路に切り換える作業において、不透水舗装P1の基層BPに排水用溝DGを形成するための溝形成工法であって、外周面に複数の突起状部材11を有する回転板10を、道路の走行方向と垂直な回転軸14で回転させ、回転した状態の回転板10の外周面を、不透水舗装P1の基層BPに接触させ、回転板10を、道路の走行方向に沿って移動させる。溝形成作業を大幅に減らすことができ、施工コストを安くすることができ、しかも、排水用溝DGの底部に大きな凹凸を形成することなく排水用溝DGを形成することができる。

【選択図】 図1

